いわき民報
發行所
平市田町48 電381・176・1222
いわき民報社
印刷兼發行人 登田原
編集兼發行人

春の味覺
出廻迅速
ブラジル
平・鹽木通 電990

勞使懇談會開く

忌憚ない意見交換

縣地勞委創立五周年を記念して二十七日午後一時から東部石炭協會會議室に『勞使懇談會』が開催され地勞委々員から中村常次郎氏ら委員五名、經營者側として常磐古河、大日本礦業、隅田川、壽等十炭鑛代表、勞組側から磐炭勞鈴木事務局長、東部鑛連側から小島專務理事、青木勞働部長、吉崎平勞政事務所長外東部石炭協會側代表など約三十名參集の上地勞委並に斡旋委員會が過去に採り上げた勞働問題を始め最近の勞働問題など多角的に批判檢討、忌憚のない意見が交され午後四時半盛況裡に閉會した

當日の意見の主なものとして經營者側から『最近の勞働組合は短氣になつた嫌いがありすぐストに入る樣だ、經營者としては組合の健全な發達を望む』との意見があつたが勞組側としては『レッドパージ以來委縮していた勞組が解放的になつた現在は却つて健全化しており、過般のレッドパージ以來自己心が强くなり勞組の交涉に對しては延長策をろうしている樣な爲やむを得ずスト權を行使しているのだ』と反駁、殊に健全な發達を望むとは具體的にどんなことかとの質問に對しては『會社が潰れない樣な賃金を要求してもらいたい』という程度の話があり組合では三和炭鑛の爭議に對し地勞委がスト破りの事情を熟知し乍ら何等の措置をもつてない樣だし、勞組としては二、三カ月もかかる地勞委の斡旋には緩遠くなると思われる點があるので今後改善の話に對し『地勞委では出先機關がないことと、提訴前に積極的に責任ある行動がとれない立場にあるので今後改善されねばならない』との話も出された

植田町の豫算町會 原案可決

二十五年度植田町歲入歲出豫算は二十七日より開き三日間に亘つて左記盛岡山の證案を審議した

△二十四年度（過年度分）町稅滯納處分費追加更正△同町稅延納決定△同町稅滯納處分費追加更正△同町稅延納認定△同歲入出決算認定△職員費中辨償額報酬額並に支給條例中一部改正△消防團員給與條例中一部改正△廿五年度歲入歲出追加更正豫算案定△兒童福祉施設（保育所）設置の件△一時借入金△二十六年度歲入出豫算△住宅建設資金貸付條例設定△特別會計設定△住宅建設資金特別會計歲入歲出豫算△公立學校選擧△二十四年度保險料滯納處分△同一部負擔金並に使用料滯納處分△同保險料延納額△同一部負擔金並に使用料延納△同國民健康保險特別會計歲出追加更正豫算案△住宅建設資金貸付條例設定△住宅建設資金特別會計歲入歲出豫算△公立學校選擧△二十四年度保險料滯納處分△同町稅滯納處分費追加更正△同町稅延納決定△同歲入出決算認定△職員費中辨償額報酬額並に支給條例中一部改正△消防團員給與條例中一部改正△廿五年度歲入歲出追加更正豫算案定△兒童福祉施設（保育所）設置の件△一時借入金△二十六年度歲入出豫算△住宅建設資金貸付條例設定△特別會計設定△住宅建設資金特別會計歲入歲出豫算△公立學校選擧△二十四年度保險料滯納處分△同一部負擔金並に使用料滯納處分△同保險料延納額△同一部負擔金並に使用料延納△同國民健康保險特別會計歲入歲出追加更正豫算案△住宅建設資金貸付條例設定△住宅建設資金特別會計歲入歲出豫算△公立學校選擧△二十四年度保險料滯納處分△同町稅滯納處分費追加更正△同町稅延納決定△同歲入出決算認定△職員費中辨償額報酬額並に支給條例中一部改正△消防團員給與條例中一部改正△廿五年度歲入歲出追加更正豫算案定△兒童福祉施設（保育所）設置の件△一時借入金△二十六年度歲入出豫算△住宅建設資金貸付條例設定△特別會計設定△住宅建設資金特別會計歲入歲出豫算△公立學校選擧△二十四年度保險料滯納處分△同一部負擔金並に使用料滯納處分△同保險料延納額△同一部負擔金並に使用料延納△同國民健康保險特別會計歲入歲出追加更正豫算案△住宅建設資金貸付條例設定△住宅建設資金特別會計歲入歲出豫算△公立學校選擧

確認書寫受領者

平市内で三十一名

四月の地方選擧に立候補するため資格審査確認書寫の交付を受けた者は平市で次の三十一名となつている

金古政通（酒城跡）岡井美（新川町）鈴木新平（向鎌田）片寄保（向鎌田）柏原秀藏（新川町）眞木恒（紺屋町）馬目武之助（五丁目）鹽飽英（北白土）齊藤角治（綱宮町）野崎福藏（酒城跡）金成誠雅（鎌田）蓮沼龍輔（田町）熊谷保高（五丁目）佐藤伊太郎（仲間町）諸橋平次（新川町）鈴木秋光（上荒川）佐藤源吉（月見町）小松茂（南町）諸橋久十郎（五丁目）江尻思平（下平窪）鹽田道（鎌田）佐藤友藏（中神谷）會川利一（中神谷）石山一治（材木町）志賀尊吉（中神谷）强口唯七郎（田町）吉田嘉代治（白銀町）大塚駒太郎（一丁目）萩原義雄（古鍛冶）關場益一（中窪）大槻庫（十五丁目）

選擧說明會

あす開く

石城地方事務所では二十九日午前十時から市役所會議室に各町村の選擧關係主任を集め

入遠野中竣工

卅一日盛大な落成式

工費六百七十余万円（敷地を含む）をもつて植田町吉野澤産の輕石調質の下に昨年七月以來着工中の入遠野村新制中學校々舍は此の程竣しを見たので二十八日引渡しを行つた、三十日地元有志を初め關係町村及び各官衙重立者多數を招待し盛大なる落成式を擧行する同校舍は十教室の外に校長室と職員室其の他で總建坪數は四千四百二坪と云う山間地には稀れに見る理想的なモデル的校舍として興彩を放つている

入遠野村々會

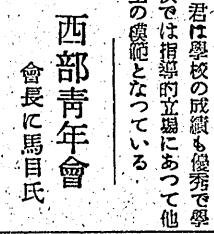
入遠野村では二十九日村會を開催し二十五年度の追加更正豫算案を主題に審議する

倉庫破り五人組擧る

昨報＝常磐炭鑛湯本鑛四坑の郎（二〇）同町傾城一四强盜前科一犯無職金澤某（一七）

今樣孝女白菊

內町小に咲いた美談



光子ちやん

話題の主は內郷町綴字町の內秋山、內町小學校六年生先崎光子（一二）さんで光子さんは生れて間もなく父に死別し其の後母トメヨ（三七）さんの手一つで育てられ母の內職の袋はりを唯一の收入に母一人子一人の寂しい生活を續けてきたが、二年程前トメヨさんが病に倒れ收入の道が杜絶えるや、病床の母を守つて納豆賣りを續け、炊事は勿論家計一切を切り廻し感心な生活を續けているもので學校での成績も優秀で此の程孝子の鏡として學校から表彰を受けたもの、光子さん談「お母さんの藥代を產んでいた納豆も賣れなくなりました、母一人子一人の寂しい生活でも私は貧しさに打ち勝つて强く生きます、お母さんの病氣が一日も早く治つてくれることが私のなによりの望みです」

（寫眞は孝女光子さん）

一年間夜警

二中の美談

二中の三君はこゝ一年間烈風にさらされながら每夜約六キロにわたる廣い中神谷地區を火災の危險から救おうと熱意にもえる。十三日に行われた平二中晴れの卒業式に全校只三人の善行賞を授與された一年生

西部青年會

會長に馬目氏

平市西部青年會の役員がこの程決つた

會長馬目智夫（紺屋町會長）
副會長馬目雄隆（三丁目會長）
副會長大槻吳羽化學主任
△幹事 川又一豐赤井主任 大嶋日素主任、二階堂大日本炭礦主任、宮澤常磐炭鑛主任、松本古河好間炭鑛主任、渡邊四倉セメント主任、平保健所鈴木總務課長、同藤地技師

內郷に破藏

內郷町內水字入山佐々木不動澤炭鑛では二十七日夜資材倉庫の錠を破られ銅線十三貫ヨントラー銅板等時價一万円相當を盜まれた

電話線盜難

二件發生

二十六日夜十時ころから翌二十七日朝方にかけ磐崎上湯長谷地內の湯本電報電話局＝の公衆電話銅線が約一百五十米程ベンチのようなもので切斷取されているのを發見又二十七日夜永戸村字合戸地內の合戸—永井間の電話線三百米が切斷された

天氣予報

十八日【今晩】北寄りの風やや强く雨が降り續く【明日】北寄りの風始めの中やや弱く雨癒機、日中は曇りがちのくずついた天氣、時々晴間も出る、海上は今晩明日とも北寄りの風により風波が立つ故合船は注意、明後日は穩か

天皇御一家寫眞展開く

卅一日—一日

天皇御一家の日常生活の寫眞展覽會は卅一日と一日の二日間平市驛前壽百貨店ホールで開く、熊谷辰雄氏の寫眞の大家が約一カ年かゝつて苦心撮影したもので全紙に引伸ばしたもの五十點が宮內省から貸下げになつたものを陳列される、放送局では當日の實況を放送する、一般入場は無料でこの寫眞の管理は中光體會が責任者である

湯本新豫算案を可決

湯本町會は廿七日午前九時から開催財產明細並に二十五年度事務報告の後二十六年度豫算に就き審議會費百六万四千七百円、警察消防費九百六十六万九百円、土木費二百十二万円、教育費千二百四十一万九千九百円、社會勞働及施設費七百六十七万七千三百円保健衞生費一百八十三万八千二百円、產業經濟費九十六万六百円、財產費三十八万五千円等計五千三十四万三百円（前年度四千六百五十万六千九百円）特別會計豫算として國民健康保險費四百四十六万三千一百円、上水道費一百五十万八千五百円を原案通り可決、俞吹矢、櫻木町、山の神地內道路補修工事（三十万円）吹矢（一百米）湯小校入口（百米）上町石風呂前（百米）公民館前（百米）の測量工事（七十万円）湯小講堂新築（一百四十万円）等が新規事業で、任期滿了公安委員選任に就いては木山茂彥氏が再選承認され午後四時閉會した

會長根本貞治氏に決定し會員集り自由クラブの發會式を擧行した、會長山崎辰亥氏、副會長は九十六名

天皇の御一家寫眞展
宮內省貸下げ（50點）
撮影 熊谷辰男
◈期日 三月三十一日 四月一日 二日間
◈會場 壽百貨店新設二階ホール
午前十時より午後四時迄
入場無料 一般觀覽歡迎

ほころびる櫻の花に慰けて可憐に咲いた白百合の花、今樣孝女白菊の物語り……

會 折詰仕出し 話 電292
お壽司は多少に拘らず迅速に出前いたします
御用命ねがいます

御入學御進級 今日のよろこび 永久のたのしみ
飯田寫眞館 平紺屋町 寫樂館主

旅館座敷女中 數名入用
健康なる方 年令25才より40才まで
姓名在社（13）

我が國木材の王者 色香を誇る
木曾檜 産地直輸 格安大量入荷
秋田杉 在庫豐富
一般の御引立御註文に應じます
一丸一材木店 平市五丁目電五五六 一九〇

記念品 優勝旗 カップ
琉安
日本水素工業株式會社
社長 莊野精一郎
小名濱町高山 電501—4

有限會社常磐土建工業社 草野道人
三崎組 太田武彥
小名濱土木株式會社 坂本二郎
大友工務店 大友孝之進
作山組 作山安太郎
內田建設株式會社 內田岩雄
松原組 松原英次郎
柳內組 柳內庄八
小原工務所 小原松之助
野口組 野口繁
前澤組 前澤由五郎
深山組 深山東八
鈴木組 鈴木一
小林建設株式會社 小林隆三

町議四名を減員

小名濱町會で可決

小名濱町では二十七日の町會に協議案として町會議員定數の變更について協議したところ現在の定員三十名を二十人に減員せよ（小野（務）氏）二十五名に減員すべきだ（佐藤（政）氏）との減員説と現狀維持（木村、邨内氏）並に減員どころかもっと增員出來るものなら逆に增員したい位だと云う減員絶体反對説（金澤氏）が飛び出し

△減員支持者側は歲費の輕減、電より質が大切、缺席が多いのは實質的には減員を意味している△現狀維持を支持する側は減員によって特權階級が巾を利かしボスがはびこる、各層の意見を反影させることが町會として望ましいなどの賛否兩論が對立したまま記名投票によってこれが可否を決したところ減員賛成十五名、現狀維持十二名で減員が決定、どの程度に減員すべきか協議したところ二十六名と二十四名説に分れ投票の結果『定員二十六名』賛成十五名『定員二十四名』賛成十二名で結局定員二十六名に減員することを決定、今度の四月選擧に間に合せるため更に會案として『町議會議員の定數を減員する條例設定の件』を上提、また『小名濱町選擧區條例改正の件』も提出、何れも可決した、このため今度の町會議員選擧は舊小名濱選擧區は定員二十二名（三名減）舊玉川選擧區が定員四名（一名減）となった

新豫算案可決

莊野社長を見舞う

小名濱町豫算町會の最終日二敗の減員を敢選直前にやってのけた、次期町議を狙う人々には意外な動きでありまたうらめしい決選ともなったわけだ、勿論この可否については町議諸公が町民の世論の上に立って斷行したと受取って良いのだろうか…

○…この町會は先に玉川分村問題がやかましいときに玉川地區から一定數の議員を選出させると云う公約で舊玉川を定員九名とする選擧區條例を作った町會である、この町會が今度の減員斷行にからんでこの選擧區制を一度も使用せずにこの條例を廢止せよと云う意見が出て揉んだのも何にか妙な風にとれた、特に玉川選出議員からこの條例に案外冷淡だったのも興味深い…

○…町議定數の減員が投票によって確定したとき議場は一寸興醒にも見えた、一部員は『減員すると云う意見が進歩的考え方だと思って簡單に減員賛成に投票したが次に來る選擧を思えばそっとするよ』と洩してもいる、あア神よ！減員に賛成した議員諸公に再選の榮冠を與え給え、落選するととんだ皮肉になりますそー（I）

新田分校を新築

澤渡村新田分校は去る十二日火鉢の殘火から全燒、十四日算二百二十一万円、設備費十万円で敎室三、裁縫室一、職員室一別棟として住宅（十五坪）を建築することになった、同分校には生徒新田地區七十五名外の宮本村の三十五名永戸村の四名を收容する

武道大會

十五日に開く

平市では!!櫻まつり行事として武道大會を四月十五日午前十二時半から松ガ岡公園忠魂碑前で行う、これは市內八地區の青年會參加による對抗試合で劍道、柔道ともに團体優勝杯がかけられている、なお雨天の祭は平地區警察署武德殿となっている

選擧對策委

卅一日日鑛で

日鑛常連では三十一日勞働會館に第一回地方選擧對策委員會を開き選擧基本對策の件を審議する

扶助料を返上

純情さに市も感激

最初お願いする時は感謝の涙に暮れる生活扶助もいざ家計が良くなって扶助料減額とか廢止になるという時になると本人からの申入れはさらさら市社會課から通知をうけてえん慨になるというのが大部分の世智辛い世の中にあってこれは本人から生活扶助返上を申入れてきた濕日な人があり平市社會課でも近頃に珍しい話しだとよろこんでいる

當人は市內舊呉服商四二大工樋口芳武（四三）さんで家族は妻ケサ（四一）さんの外長女十二才を頭に四男二女の計八人の大家族だが當の芳武さんは二十二年以來宇北好間字三反田隅田川炭鑛で來たので仕事も手につかず殊に去年七月初めから病氣が惡化し寢込んでしまい生活にも困か市の扶助として月々三千三百円を支給されて子供たちの敎育扶助も頂いていたが最近病氣も回復に向って來たので『これ以上世話になっては市民に申し譯けない』と扶助料返上を妻ケサさんからこの程申込んで來たものである

市社會課談『最近にないうれしい話だが、この樣なことは他にも一人も無い位のことである』

光子さんに

善行賞授與

內郷町綴內町小學校六年生先崎光子（一二）さんは母一人、百人に一人も無い位の子で一人で母八重さんは昨年二月ころから病臥し寢たきりなので生計を立てるため納豆賣りを始め生活を助けて來たが學校の成績も良好で眞面目であり素直な少女なので內町小學校では二十三日卒業式場で二千名の兒童の中から特に選び善行賞を授與した

農青役員會

石城農業青年連盟役員會は二十六日午後一時から石城農業會館會議室に開き二十六年度事業計畫、同收支豫算について協議、次の事項について郡下青年運動の主旨を徹底するよう申し合せた

郡下には二十七カ町村約五百名の會員が結成されており農業經營同組合の趣旨普及運動のため研究會を度々開催し、青年婦人などの未加入農民の加入促進を圖る、又農村文化の改善には冠婚葬祭の簡素化と形式的な費用を節減すること、家庭經濟を左右する台所の改善に婦人會員と協力する、郷土民藝の振興に精進する

ズリ山の下敷、少年壓死

好間村大字北好間字堂田三七小田炭鑛採炭夫菊地安藏さん三男武治（一五）君は十七日午後二時半ころ家を出たまま行方不明となっていたが二十七日午後一時半ころ好間村大字北好間字三反田隅田川炭鑛元のズリ捨場の岩盤の下敷となって壓死しているのを發見された、同君はズリ山の石炭を採ってくると家を出て石炭採取中ズリの下敷となったものとみられている

一萬圓に當選

入場稅の增收を計る第二回二重のたのしみ抽選券による郡內の當選者には特賞の一万円（番號一四六六九六）が內郷町宮、その前後賞二千円（一四六六九五）も同町內にある

盜難ひんぴん

◇內郷町高坂字櫻井九二採炭夫酒井龍春（五一）さん方では十七日夜靴二足（三千円相當）同字地內支柱夫後藤勇治（四七）さん方でも短靴一足（二千円相當）同町高坂字御殿一採炭夫大和田一美（四七）さん方では衣類十點（五千円相當）を盜まれた

◇湯本町高倉一〇六農佐藤義金（七〇）さん方では二十一日夜鶏一羽（四百円相當）卵十六コ米一升同字地內採炭夫石川守（三一）さん方では十五日夜鶏小屋から白米二升を盜まれ二十一日それぞれ湯本町署に屆出た

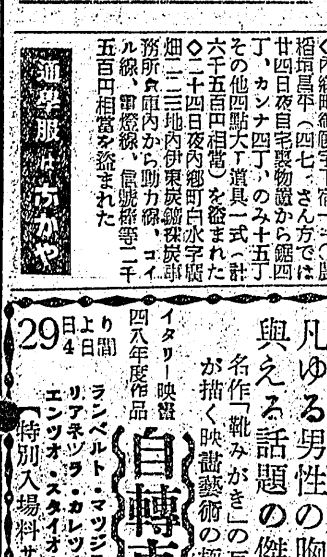
◇平市彫刻六無職熊谷ツヤ子（九）さん方では二十三日夜鶏二羽（千円相當）を盜まれた

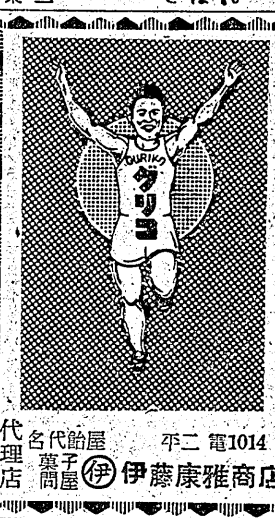
◇內郷町綱厩字下宿二三〇農稻垣昌平（四七）さん方では廿四日夜自宅裏物置から鋸四丁、カンナ四丁のみ十五丁その他四點大工道具一式（計六千五百円相當）を盜まれた

◇二十四日夜內郷町白水字鹿畑二三地內併東炭鑛採炭部務所倉庫內から動力盤、コイル線、電燈線等二千五百円相當を盜まれた

◇內郷町綱厩字下宿二三〇農稻垣昌平（四七）さん方では廿四日夜自宅裏物置から鋸四丁、カンナ四丁のみ十五丁その他四點大工道具一式（計六千五百円相當）を盜まれた

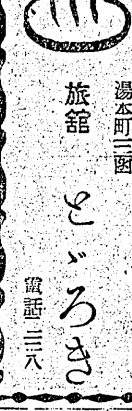
◇二十四日夜內郷町白水字鹿畑二三地內併東炭鑛採炭部務所倉庫內から動力盤、コイル線、電燈線等二千五百円相當を盜まれた





空巢ドロ擧る
四倉町字志津二四無職松崎高三五）から衣類二點二千三百円相當を盜んだのを手初めとして同町の外六軒に及ぶ空巢ドロを働き衣類二十三點四万円相當を同町字志津吉田キヨ子（二六）外三名に賣ったことが判り二十七日四倉町署に捕まった

温泉の完備した
靜かな美しい室
御同伴歡迎いたします
湯本町三函
旅舘
電話 三八

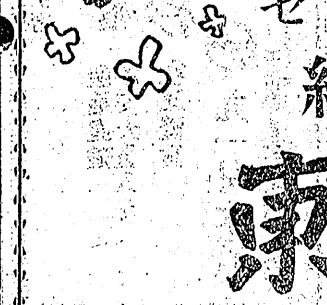


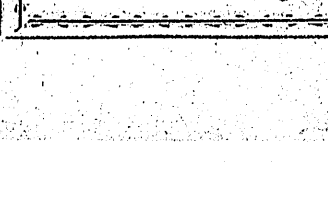
代理店 名代飴屋 菓子屋 伊藤康雅商店 平二 電1014

1、千円で特賞10萬圓當る
金預定期七福
第10回抽籤は5月5日（成人の日）平市に於て行われます
親切第一 七十七銀行

ホーム石鹸 サンキュー
佐々木商店
平市かじ町 電話五〇三

三菱の新利殖法
遊資金とお手持株券の利殖は永年の經驗と信用第一の當社に御相談下さい
一 金額五千圓以上
一 利廻配當 月拂三分
一 期間 三ケ月
一 擔保 御安心ノ爲一流花形株券差上げます
◎お手持株券がありましたら同樣御利殖の御相談に應じます
◎殊に俸給生活補助には諸官廳、警視廳方面よりも多大の御好評を頂いて居ります
◎御申越に依り營業案內書贈呈
◎日曜、祭日無休御氣輕に御來社を御待ち致します
本社 東京 三菱相互融資株式會社 平營業所
平市曰銀町十四番地（驛前通）電話六三五番





凡ゆる女性の涙を誘い
凡ゆる男性の胸に感動を
與える話題の傑作!!
名作「靴みがき」の巨匠デ・シーカが描く映畫藝術の極致!
イタリー映畫
四八年度作品
自轉車泥棒
ランベルト・マッジョラーニ
リアネッラ・カレッリ
エンツオ・スタイオーラ
特別入場料サービス60円
平舘

一九世紀末の米國中西部の實生活、戀愛、ロマンス
ユーモアの物語
ユナイテッド・アーチスツ映畫
美しき生涯
マーサ・スコット主演
平文化

29日より5日間
29日より4日間